

あなたのためです 応急手当を

洗剤などを飲んだ・ガス中毒

化学薬品が増え、それを含む日用品も増えている日常生活では、人体に中毒を起こす物質がたくさんあります。

そのため中毒事故も増加を続け、事故者のうち1%は死亡しているといわれます。

中毒事故を起こすのは、きれいな容器に入った洗剤やシャンプーで、子供達は飲料のつもりで飲んでしまいます。

このように、子供の身近には、化粧品、ペンキ、接着剤、漂白剤、殺虫剤など、数えあげてもキリがありません。

有毒ガスの一般的なものには、一酸化炭素ガス、アンモニア、塩素、有機溶剤(シンナー)などありますが、ガス中毒で一番多いのは一酸化炭素によるガス中毒です。

応急処置の手順

日用品を飲みこんだ

早急に吐かせる

できるだけ早く吐かせます。口の中に粉末や固形物が残っている場合、ガーゼなどでふき取ります。

胃に飲みこんでしまった場合、水や牛乳を飲ませ毒物を薄め、のどの奥に指をさし入れ吐き気を刺激して吐かせます。



残った容器で何を飲んだか判断しますが、飲みこんだものの毒性が強かったり、症状の回復が見られない時は、すぐに病院へ運びます。

劇薬を飲んだ

吐かせてはだめな場合

硫酸や塩酸などの強い酸、アルカリ液、ガソリン、殺虫剤(噴霧用)、漂白剤などは、無理に吐かせてはいけません。

飲んだものが不明で、口の中がただれている時。

意識を失っている時も、吐かせてはいけません。昏睡体位で寝かせ、蘇生法などの処置をします。

意識があれば、原則として吐かせる処置をとります。吐かせかたは左と同じです。

体温をうばわれないように、保温処置をして、病院へ連れて行きます。

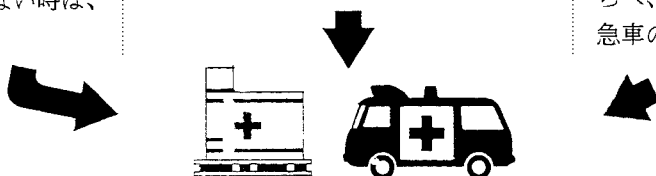
有毒ガスを吸った

新鮮な空気をあてる

密閉した部屋で、換気をしないでガストープ、石油ストーブ、炭火を付けたままにしておくと、一酸化炭素中毒になって、本人の気が付かないうちに突然意識を失って倒れてしまいます。



この場合の処置は、新鮮な空気のところへ移し、衣服をゆるめ呼吸をしやすくし、意識、呼吸、脈の有無などをしらべ、人工呼吸、心肺蘇生をしつつ救急車の手配をします。



注意が必要な日用品

誤飲すると危険なもの

誤飲しても少量なら大丈夫と思われるもの

毒性が強く危険(大至急治療が必要)	毒性あり(早く治療をうける)	(医師に連絡・相談する)
トイレの洗剤、漂白剤、食器洗い用洗剤、シンナー、ガソリン、灯油、殺虫剤、マニキュア除去剤、染毛剤	タバコ、洗剤、防虫剤(ナフタリン・しょうのう)、香水、ヘアトニック、水銀電池	石けん、ろうそく、クレヨン、マッチ、インク、口紅、クリーム(乳液)、蚊取り線香、乾燥剤(シリカゲル)
困ったときは 日本中毒情報センターの 中毒110番へ	24時間態勢で無料相談をしています。問い合わせは緊急時に限り手短にする	茨城県つくば市 つくば中毒110番 ☎0298(52)9999 大阪市 大阪中毒110番 ☎06(871)9999